

加茂水産高と庄内農業高が鶴岡中央高に統合し「校舎制」に 高校再編3次計画で

県教育委員会の田川 地区県立高校再編整備 計画2次計画（10/5 発表）では、中高一貫 教育校の鶴岡設置に加え、加茂水産高と庄内 農業高が今後小規模化 した場合、鶴岡中央高 に統合する3次計画を 示し、既存の実習施設 を活用する学校運営「校 舎制」についても検討 するとしました。

実践的な知識や技術の習 得の場として加茂水産 高校や庄内農業高校は 大切な学びの場だ。 両校の特色ある教育 活動は、地域の産業を 支える人材を輩出する など大変重要な高校だ。 しかし、生徒数の減 少で小規模化した場合、 教員数も減り学習内容 の維持が難しくなる。 県がこのことについ ていいねいに説明し、 地域の意見を聞き取り、 3次計画に反映するよ う要望していく。」

農林水産業は市の基 幹産業であり、地域の 後継者を育てる高校の 存続へ、市は全力で取 り組むべきです。

この問題では、鶴岡 市議会12月定例会で皆 川市長は、加藤鉦一議 員の総括質問の答弁で 次のように述べました。 「本市産業の基盤と なる人材育成の場、実



庄内農高同窓会藤島地域連絡協議会（工藤正喜会長）が1日、藤島地区活動センターで開いた第2回クリスマスパーティに、昨年の60人を上回る80人が参加しました。



丸岡城跡鯉もち祭り
例年12月の第一日曜日開催される「丸岡城跡鯉もち祭り」が3日、櫛引地域の丸岡コミュニティセンターで開かれ、熊本城から丸岡に配流された忠廣公を偲び、昔から伝えられる鯉もちを献上しました。

鯉もちがコイの身が入った雑煮で、地元的女性たちが準備。講話では小林良市氏が、「熊本城、あの天守閣をもつ一度」と題して講演しました。

（写真：庄内加藤清正公忠廣公遺蹟顕彰会・松浦安雄会長）

東郡電気事業ものがたり ⑦

東田川郡電気事業の偉大なる軌跡 早坂清輔（上町）

■各町村役場巡回
自転車による各町村役場の巡回が行われていた。

年度は不明だが8月8日からの3日間、用務は各町村長の署名依頼である。

1日目は北部の広野新堀、余目など12町村、2日目は中部の立石沢狩川、東栄など9村、3日目は南部の大泉、東、黄金など7村で、2回の巡回もあるが29町村にマントとゴム長靴着用で自転車を漕いでの巡回である。

経路通過時間、用務時間、路線図入りで整理されている。恐れ入りの敬服の至りである。

■阿部忠蔵さんの人となり

阿部忠蔵さんは、上町の旧家で庄次郎家に明治37（1904）年に生まれ、就職は大正6（1917）年に東田川郡役所に、そして電気事業組合、町村組合を経て戦中に軍隊に召もされ、藤島町収入役、笹川土地改良区参事と歴任し、退職後は老人クラブ会長など、地域振興に尽くされた功績は大きい。

造詣が深く温厚な人柄で、平成3年3月88歳で亡くなられた。郷土の昔ばなしをもっと聞きたかった。

の確保であった。積極的に電源の強化を図り、灌漑用水動力の供給確保と普及、農村電化の普及発達、電気文化の向上など、公益事業として社会に大きく寄与した。

①揚水機施設の普及

大正4（1915）年に常万、余目に設置されてから、昭和19（1944）年には管内32ヶ所に設置された。

揚水動力1390馬力、受益面積は8325畝に及び稲作を支え、戦後は各土地改良区に引き継がれた。



（古郡の揚水機場）

②電動機の普及

昭和12（1937）年には管内の電動機の所有者は353戸であったが、翌年には300戸増え2倍近くになった。

昭和17（1942）年には2215台（うち藤島157、東栄138、渡前131、長沼58、八栄島29）となり、昭和18（1943）年には2463台1888馬力に普及した。

東郡電気事業の功績

東郡電気事業創設の第一目的は、揚水動力



ある中国残留孤児の生涯⑨

新町 齋藤留治

日本からの手紙

昭和54年1月、私(S男)は駐北京日本国大使館に手紙を送りました。

3月になり、待ちわびていた便りが日本から私の手元に届きました。

日本語で書かれた手紙を私達は読む事が出来なかつたのですが、嬉しくって涙ながら手にしました。

ただはつきりと読む事が出来たのは父と兄の名前だけでした。

父は敗戦後シベリアに抑留されていましたが、生き延びて帰っておりましたので、私は直ぐに父宛に手紙を書き私達家族の帰国手続きを依頼しました。

昭和54年10月に日本への入国手続きが許可され、昭和55年1月29日、私達家族は成田空港へ到着しました。

成田空港では厚生省援護局の担当者が迎えてくれて、多分厚生省が手配をしてくれた旅館に向いました。

その晩は懐かしさの余りの興奮状態で眠れないままでしたが、翌日には懐かしいわが故郷山形の地を踏む事が出来ました。

早速心臓病で入院中の父の元へ駆けつけましたが、日本語を話せないで唯泣き伏すばかりでした。

日本語を話せない我が子を憐れんだままに、天国に旅立ってしまった無念さを思うと心が

張り裂けるような思いで一杯です。

でもいつまでも悲しんでばかりはおれませんでした。

私には生活の糧を得る手段がありませんので、中国から持つてきた少しの金では暮らしていきません。

どうしたら良いか路頭に迷う生活が始まりました。

(ほつと一息、私・齋藤の四方山話) 人間誰しも年輪を重ねると滑稽に感じる事があるといつ。

あるドクターが書いていたが、「ア、あの人の名前は誰だっけ」と頭を傾げ、次に段々と深まって「知り合いなかった人の顔も忘れてしまい、スボンのチャ

ツクを上げるのまで忘れ、(女性ではスボンにチャックが付いているのは無いのかも) 終いにはチャックの下ろし方を忘れるといつ。(チャックの下ろし方を忘れたら大変な事態。)

こんな寂しい事にならないように、頭と体を使う運動として中国伝統武術である「太極拳」が大変役立つと思います。

ゆっくりにした動きでも体は柔らかくなる、頭も相当使わなければならぬ。練習は毎日でも毎週でもコツコツと継続して頑張れば、年取っても多分転ばないし長生き出来るかも!。



憲法90条が森友学園の巨額値引きに断下す

―あらためて憲法を学ぶ 青山崇

90条は「国の収支の決算は、すべて毎年会計検査院がこれを検査し、内閣は、次の年度に、その検査報告とともに、これを国会に提出しなければならない。2 会計検査院の組織及び権限は、法律でこれを定める」と会計検査院について記している。

これに基づいて定められた会計検査院法は、会計検査院は内閣から独立し、3人の検査官で構成する検査官会議

と事務局で組織し、検査官は両議院の同意を経て内閣が任命するとしている。会計検査院は、このように内閣に対し独立の地位を有する憲法上の機関である。

先月22日、森友学園の検査結果を国会に報告した。政府の見積もりは、ごみの量は1万9500トン、撤去費用などは8億2200万円と算定した。財務局は、土地の評価額からこの8億2200万円を差し引いた1億3

400万円で森友学園側に売却した。この点について報告は、算定に「十分な根拠が確認できない」「必要とされる慎重な調査検討を欠いていた」と値引きを認めている。

政府、国会、裁判所から独立した憲法上の機関である会計検査院が、重要な機関であることをあらためて学んだ。

なお27、28日に衆議院予算委員会が開かれ、野党の追及で、この売却に「特例」が5つほ



首相夫妻絡みだ

現職時代は補助金が絡む事業が多かったので、一年おきに会計検査院の検査を心配しなければならなかった。一年おきとは、庄内と内陸で交互に検査されるからである。

▲会計検査院の権限は絶対で、現場の破壊検査や時には補助金の返還を命ぜられたり、金庫の閉鎖も言われるものだと聞いている。

▲もとより一介の事務屋の事。金を誤魔化すなどの不正が出来る体制ではない。関係書類をしっかりと整理して検査に臨んだものである。

▲事業主体が農協の場合が多いから、2人で書類を後ろに検査院の前に座る。質問に答えながら関係する書類を提示する。難しいことになる。県職員が補助してくれていたが、制度的なことになると、

どもあり疑惑がさらに深まり、会計検査院報告を裏つけものとなっている。

そして安倍首相の答弁が変わってきている。従来の「適切に処理されている」を「財務省や国交省からこういう説明がされているという紹介をした」だけで「自らの考えとして申し上げたことはない」など。

首相も国会議員もやめる!と切った啖呵(たんか)から逃れようとしているようだ。

私達も勉強させてもらいます、といつことも。

▲さて、国会で問題になって森友の問題だが、普通の仕事は事務屋が事業について調査し、希望をとって対象者を選定する。これらは進展状況ごとに上司のハンコをもらって確認し進んでいく。

▲一つの事業として書類は綴られていく。問題が大きければ大きいほど説明できるように書類は大事にする。これが事務屋の仕事です。

▲あれは一年未満の保存期限だから書類はないとゾッパリ通しが、それは完全にウソであると俺は断ずる。順序だった仕事なら担当者のパソコンにあるぜ。

▲本当に書類がないのなら、それは大物絡み。つまり首相夫妻が森友学園の教育方針に感激して始めた仕事。だから付度(そんたく)あり神風(かみかぜ)ありだつたんだヨ。絶対許しちゃなんねーゾ。(石川)